

日本交通法学会定期総会

シンポジウムテーマ等一覧

第一回 昭和四五年六月二三日(土) 於日本弁護士連合会館(創刊号)

交通法学会の創立にあたって

加藤 一郎

(シンポジウム)交通問題の現状と課題一

交通法学の課題

西原 道雄

民事交通訴訟における損害定額化の実際

倉田 卓次

任意保険の課題

西島 梅治

強制保険の諸問題

金澤 理

賠償責任をめぐる諸問題

交通法研究会

損害賠償の訴訟手続と弁護士の役割

新堂 幸司

交通訴訟と経済的障害

小島 武司

一その克服のための諸方策一

和解の機能と限界

篠田 省二

履行確保をめぐる諸問題

椎木 緑司

警察の交通事故処理と交通犯罪の予防

竹岡 勝美

交通事件の刑事罰をめぐる諸問題

吉田 淳一

刑事交通事故事件の量刑上の課題

後藤 勇

少年の交通事件に対する処遇と今後の展望

守屋 克彦

過失についての諸問題

西原 春夫

交通事故者に対する処遇

朝倉 京一

資料

第二回 昭和四六年五月八日(土) 於名古屋大学 (第2号)

(シンポジウム)「現行法制と交通事故の抑止力」

交通事故者に対する行政処分の現状と課題

片岡 誠

刑事処分と交通事故の抑止

瀧川 春雄

民事責任と交通事故の抑止

森島 昭夫

自動車保険と交通事故の抑止

金澤 理

討論

司会

新堂 幸司

交通事故者に対する教育的処遇の課題

守屋 克彦

一主として少年について一

松山交通短期少年院の処遇の事情

奥村 晋

欧米における自動車損害賠償保障制度 運輸省自動車局保障課

労働能力喪失に基づく財産的損害の算定について 加藤 和夫

一労働能力喪失率の認定問題を中心として一

道路交通法の改正について

池田 速雄

第三回 昭和四七年五月二三日(土) 於大阪弁護士会館 (第3号)

(シンポジウム)「交通事故と示談」

示談と保険

野城 英保

示談と刑事責任

藤野 豊

示談と民事責任

淡路 剛久

研究報告

ステレオカメラによる実況見分の普及

池田 速雄

ドライバー保険について

山上 孝史

論説

家庭用自動車保険普通保険約款(FAP)

の問題点

宮原 守男

資料

交通事故訴訟における判決、訴訟上の和解の履行状況

に関する実態調査報告(昭和四六年度)

損害賠償金に対する満足度決定要因の分析

(むらちち症被害道路調査)

一いわゆる「一本化問題」を中心として一

後遺障害賠償の諸問題

椎木 緑司

定期金

山田 卓生

政府の保障事業

宮原 守男

討論

研究報告

交通訴訟における因果関係

加藤 了

一被害者の体質・素因の競合を中心として一

交通訴訟における因果関係

高崎 尚志

一被害者の後発的事情を中心として一

行動分析に基づく道路交通規則の作成方法の研究

桜田 一之

第六回 昭和五〇年五月一七日(土) 於日本弁護士連合会館(第5号)

(シンポジウム)「交通公害の防止と救済」

交通公害の全般的諸問題

平野 直樹

自動車騒音と交通規制

久本 礼一

新幹線騒音と受忍限度

野村 好弘

大阪空港判決をめぐって

西原 道雄

第四回 昭和四八年五月二二日(土) 於東京弁護士会館 (第4号)

(シンポジウム)「家庭用自動車保険約款における示談代行」

家庭用自動車保険の発売に至る経過説明

菅原 謙吾

家庭用自動車保険約款の問題点

宮原 守男

家庭用自動車保険約款の批判的検討

山本 寅之助

家庭用自動車保険約款と保険法

西島 梅治

討論

座談会・損害賠償額の算定基準 司会 野村 好弘

千種 達夫/倉田 卓次/田 邨 正義

更田 義彦/伊多波 重義

第五回 昭和四九年五月一八日(土) 於京都社会福祉会館 (第5号)

(シンポジウム)「自賠法に関する諸問題」

自賠責保険の問題点について

金澤 理

第七回 昭和五一年五月八日(土) 於第二東京弁護士会館 (第6号)

(シンポジウム)「交通事故現象の変遷と対策」

交通事故の減少要因

森 郷巳

交通事故発生原因の人的要因 橋本洋一
 交通事故制裁の意義 所一彦
 外国の交通事故の現象について 椎木緑司

《討論》

個別報告

自動車保険の改定について(一)
 昭和五一年一月の自動車保険の改定について 西原康二
 一約款改定の経緯と概要一

昭和五一年一月の自動車保険の改定について 梅野謙治
 一自損事故、無保険車傷害の概要一

《討論》

自賠償保険の問題点 宮原守男
 一自家用自動車保険と関連して一

《討論》

研究報告

自賠法三条の他人性について 藤井勲
 一共同運行供用者と好意同乗者一

運行供用者責任の本質と構造 椎木緑司
 並びに事故との因果関係について

第八回 昭和五二年五月二日(土) 於大阪弁護士会館 (第7号)

(シンポジウム)「交通事故損害賠償額の算定基準はいかにあるべきか」

東京地方裁判所判決例の分析 新美育文
 日弁連交通事故相談センターの算定基準(六訂版)をめぐって 安藤一郎
 保険実務における算定基準について 小室雅有

《討論》

個別報告

交通事故に起因する社会問題 高崎尚志
 植物人間の法的実態

《討論》
 交通事故と自殺 大原健士郎
 一医学者の立場から一

《討論》
 交通事故と自殺 本井 巽
 一法律上の問題点をめぐって一

《討論》

研究報告
 自動車の犯罪現象に及ぼす影響 朝倉京一

第九回 昭和五三年六月三日(土) 於福岡大学 (第8・9合併号)

(シンポジウム)「交通事故賠償と生活保障——保障とリハビリテーション——賠償と保障、保障の金額、他の保障との比較 浅野直人
 賠償保障制度の課題 加藤了

生活保障 伊藤文夫
 一被害者の健康回復一

制度間調整——財源問題 金澤 理
 《討論》(要旨)

個別報告(二)

海難事故に関する刑事法上の問題点 田川俊一
 後遺障害等級表の法律的評価について 椎木緑司

第一〇回 昭和五四年五月一九日(土) 於日本弁護士連合会館

(シンポジウム)「人間と道路交通」 (第8・9合併号)

交通社会と人と法律 富永誠美
 工学と交通法 平尾 収

道路瑕疵による責任 國井和郎
 道路と住民 野村好弘
 一沿道環境の保護にかかる住民関与の現状と今後の課題一

《討論》

個別報告(二)

改正道路交通法 田中節夫
 《討論》

自賠償保険の改正について 伊藤嘉之
 《討論》

昭和五三年一月の自動車保険約款の改定について 中里静資

《討論》

第一一回 昭和五五年五月一七日(土) 於名古屋弁護士会館

(シンポジウム)「重複填補の諸問題」 (第10・11合併号)

総論——重複填補の問題点 加藤一郎
 労災を含めた社会保障 下森 定

一第三者行為災害を中心に——
 所得補償保険と給付調整 西島梅治
 生命保険・傷害保険 金澤 理

《討論》

個別報告(一)

道路交通における法意識に関する研究 桜田一之
 自動車事故対策について 渡辺純一郎

交通事故紛争処理センターの実情と諸問題 伊藤淳吉
 《討論》

第二二回 昭和五六年六月一三日(土) 日本弁護士連合会館

(シンポジウム)「逸失利益算定の課題」 (第10・11合併号)

定型化・定額化論から見た逸失利益の問題 西原道雄
 男女間格差の問題 鍛冶千鶴子

逸失利益算定における学歴差の問題 羽成 守
 所得の高低問題 淡路剛久

個別報告(二) その一

労働者共済

細江貞助

【討論】

個別報告(その二)

自動車保険の支払基準の改訂について

小野塚平太

【討論】

第一三回 昭和五十七年五月八日(土) 於広島大学

(第12号)

【シンポジウム】「過失相殺と損害賠償の減額」

総論—過失相殺の思想

西原道雄

過失相殺と被害者側の事由

椎木緑司

好意同乗と減額

本井 巽

過失相殺の基準

佐々木一彦

【討論】

個別報告

自動車保険の約款改訂について

柳澤 忠

【討論】

バック旅行と旅行者の責任

高橋 弘

算定基準等の比較検討

木宮高彦

【討論】

損害賠償と社会保障研究会報告書(第一次)

損害賠償と社会保障

はじめに

野村好弘

第一部(参考文献)

ピアソン報告書をめぐって

菅原勝伴

ニュージーランドとオーストリアの補償制度

伊藤高義

不法行為法の将来構想

加藤雅信

—損害賠償・保険・社会保障化論—

自動車事故における損害賠償制度と

社会保障制度との調整及び集団保障構造

椎木緑司

カラブレシ理論の適用可能説

森島昭夫

ピアソン委員会報告書の位置づけ

飯塚和之

犯罪被害者等給付金支給法案をめぐって

斎藤誠二

労災保険法の改正について

藤村 誠

第二部

今後の研究会のすすめ方について

野村好弘

保険会社の支払基準について

水野 貞

裁判所の算定基準について

小川昭二郎

いわゆる七訂版の内容と意義

高橋勝徳

東京三会損害賠償基準の作成経過と

策定上の問題点

羽成 守

全共連の査定について

有賀 行

勸交通事故紛争処理センターにおける

紛争処理の現状と新基準

高松代梨克彦

中国の交通事故損害賠償制度と具体的事例

西本原道雄

日弁連八訂版について

高橋勝徳

第一四回 昭和五十八年五月二日(土) 於日本弁護士連合会館

【シンポジウム】「交通事故犯に対する制裁」 (第13号)

免許の取消・停止

長倉真一

反則金

板東司朗

刑事制裁

佐野精孝

懲罰的損害賠償

山田卓生

【討論】

個別報告

自動車事故と責任

椎木緑司

—社会構造的な特殊不法行為としての側面から—

【討論】

自家用自動車総合保険について

大槻玄太郎

【討論】

損害賠償とインフレ加算

新美育文

【討論】

研究報告

スイス法における好意同乗

斎藤 修

第一五回 昭和五十九年五月二日(土) 於大阪弁護士会館 (第14号)

【シンポジウム】「交通事故と原因競合」

—共同不法行為を中心として—

車両間事故

森島昭夫

医療過誤との競合

本井 巽

道路路地との競合

國井和郎

被害者の素因との競合

倉田卓次

【討論】

個別報告

民事暴力と交通示談

芝 康司

【討論】

交通事故の被害者による加害者の

任意保険金請求権の代位行使

天野 弘

【討論】

座談会

共同不法行為をめぐって

司会 加藤一郎

森島昭夫/野村好弘/淡路剛久

第一六回 昭和六〇年五月一八日(土) 於日本弁護士連合会館

(第15号)

【シンポジウム】「交通事故と医療費問題」 司会 山田卓生

救急医療体制と医療費

岡村正明

保険制度と医療費

斎藤正己

保険実務と医療費

平野良一

判例に現われた医療費

加藤了

【討論】

個別報告

シートベルトの義務化に関する問題点

安藤忠夫

《討論》

交通事故と安全配慮義務 下森 定

《討論》

自賠責保険の改定について 福島 義章

《討論》

第一七回 昭和六二年五月三十一日(土) 於日本弁護士連合会館

〔シンポジウム〕車両損害の諸問題― (第16号)

車両損害の損害額算定の法理 野村 好弘

車両・対物保険 大森 利夫

損害調査の保険実務 安延 祥一

紛争処理手続き 森島 昭夫

《討論》

個別報告

シートベルトと過失相殺 山田 卓生

《討論》

レーダーによる速度測定上の諸問題 青木 莊太郎

《討論》

第一八回 昭和六二年五月三日(土) 於名古屋弁護士会館

〔シンポジウム〕交通災害の後遺障害に関する諸問題― (第17号)

鞭打り症を中心とした交通事故後遺障害

についての統計的研究 高部 福太郎

国際障害分類の交通法学への応用 渡辺 富雄

労働能力喪失表と裁判所の認定 本井 巽

実務上から見た後遺障害認定における諸問題 西森 千晴

《討論》

個別報告

共同運行供用者について 福永 政彦

《討論》

飲酒運転の実態と意識 小林 實

《討論》

第一九回 昭和六三年五月二日(土) 於日本弁護士連合会館

〔シンポジウム〕アルコールと交通事故― (第18号)

飲酒運転の取締りと処罰の実態 内田 利昭

アルコール医学からみた飲酒運転 古村 節男

交通事故の原因からみた飲酒運転 平尾 収

自動車運転代行業務と代行運転者が発生させた

交通事故の運行供用者責任の帰属 阿波 弘夫

《討論》

個別報告

自動車事故の運行起因性 高崎 尚志

《討論》

鞭打り症をどうみるか 渡辺 富雄

《討論》

第二〇回 平成元年五月二〇日(土) 於広島大学医学部第五講義室

〔シンポジウム〕交通事故における医学鑑定をめぐる諸問題― (第19号)

問題点の整理と問題提起 小貫野 晶一

医学鑑定の現状と問題点 小嶋 亨

訴訟遂行と医学鑑定 畔柳 達雄

裁判における鑑定利用の実情と問題点 塩崎 勤

《討論》

個別報告

船舶の衝突と航路の法的性格 国司 彰男

《討論》

海上交通の実態調査と体験航海について 西島 梅治

後遺障害の補償の在り方 渡辺 富雄

《討論》

第二一回 平成二年五月一九日(土) 於日本弁護士連合会館

創立二〇周年記念行事

一 総会および記念式典

二 記念講演

「ヨーロッパにおける自動車事故の責任」HeiB Kötz 教授

(ハンブルグ大学)

「アメリカ合衆国における交通事故補償システムの最近の危機」

George L. Priest (イェール・ロースクール教授)

以上の記念講演は、記念出版の「世界の交通法」に収録する。

三 観開式演習の船上見学(海上保安庁主催)

第二二回 平成三年五月八日(土) 於香川大学法学部・第三講義室

〔シンポジウム〕違法駐車をめぐる諸問題― (第20号)

道路交通法及び自動車の保管場所の確保等に関

する法律の一部改正について 東川 一

大阪地区の違法駐車の実態と対策 塚口 博司

違法駐車に起因する交通事故の損害賠償問題 土田 哲也

外国の駐車対策、日本の今後の施設整備の在り

方 太田 勝敏

《討論》

個別報告

自動車・自賠責保険にかかわる医療問題と業界

の取組みについて 稲垣 博司

《討論》

被害者側の既往症と加害者の減責について 赤松 和彦

―頸椎捻挫を中心として―

《討論》

関西支部 平成三年一月九日

交通事故と死との因果関係判定に当って

大阪大学医学部法医学教室教授 若杉 長英

運行供用者概念の再検討

加賀山 茂

天野 龍介

第三回 平成四年五月一六日(土) 於日本弁護士連合会館

個別報告

(第21号)

スピード違反の実態と取締要領

秋本 守祐

松倉 佳紀

〔シンポジウム〕外国人労働者への交通事故賠償

外国人の交通事故と損害賠償責任

村田 敏

自動速度取締装置オートビスⅢの誤測定の可能性について

―大阪高等裁判所平成四年九月九日判決―

藤井 勲

―外国人労働者の労災事故との比較考察も含めて―

外国人労働者の交通事故と労災保険・社会保障

桑原 昌宏

搭乗者傷害保険と損害賠償

北河 隆之

外国人被害者と自賠保の取扱い

伊藤 文夫

第二五回 平成六年五月二八日(土) 於日本弁護士連合会館(第23号)

民事裁判実務上の問題点

小川 英明

〔シンポジウム〕交通事故の裁判外紛争処理解決について

司会 小島 武司

第二四回 平成五年五月八日(土) 於東北大学法学部教室 (第22号)

〔シンポジウム〕交通事故損害額算定基準をめぐって

交通事故損害額算定基準の沿革と意義

沖野 一彦

アメリカのADR(訴訟外の紛争解決方法)について

加藤 一郎

「交通事故損害額算定基準」の使われ方

(1)裁判所の現状と機能

浅野 正樹

交通事故紛争の仲裁による処理について

倉田 卓次

(2) 朝日弁連交通事故相談センター基準の現状と機能

高野 真人

朝日弁連交通事故相談センター示談斡旋・審査業務の

実情と問題点

高野 真人

朝日交通事故紛争処理センターの現状と課題

松代 隆

(3) 東京三弁護士会基準「赤い本」の現状と機能

佐々木 一彦

《討論》

個別報告

(4) 朝日交通事故紛争処理センターの場合

川口 雄市

AT車の暴走事故について

平尾 収

(5) 任意対人賠償保険における支払基準について

《討論》

自転車の安全利用の促進及び自転車駐車場の整備に

関する法律(いわゆる自転車法)の改正について

―放置自転車対策の強化―

松富 泰生

PL法と火傷事故

―アメリカとの比較を中心に―

山口 正久

《討論》

《討論》

自転車交通の整備及び事故防止の諸問題

椎木 緑司

第二七回 平成八年五月二五日(土) 於弁護士会館講堂 (第25号)

〔シンポジウム〕重度後遺障害者の実態とその救済

司会 倉田 卓次

第二六回 平成七年六月三日(土) 於北海学園大学法学部教室(第24号)

〔シンポジウム〕自賠法四〇年の軌跡

司会 西原 道雄

責任論―運行供用者問題を中心にして―

宮原 守男

遷延性植物状態について

堀江 武

交通事故訴訟における人身損害賠償額算定方法の特色

―定額化説や公害・業害における方法と対比しつつ―

吉村 良一

自動車事故による重度後遺障害者の生活実態

垂水 正大

逸失利益の算定法

―男女間格差と南北間格差の問題―

山口 成樹

自動車事故による重度後遺障害被害者に対する

法的救済の現状

藤村 和夫

政府保障事業制度の法的性格について

原口 宏房

労災保険における重度後遺障害被害者に対する

法的救済

桑原 昌宏

《討論》

個別報告

人身事故における過失相殺の在り方

―フランスにおける立法及び判例を素材にして―

山野 嘉朗

交通事故と医療過誤の競合

稲垣 喬

《討論》

交通刑務所の現状と展望

伊藤 嘉明

《討論》

第二八回 平成九年五月二四日(土) 於広島大学法学部・経済学部東千田校舎 (第26号)

〔シンポジウム〕交通事故と物的取返

司会 山田卓生

ドイツにおける交通事故調査体制について 小野古志郎

道路標識をめぐる諸問題について 見坂茂範

道路の防災対策について 小池幸男

営造物管理責任について 北河隆之

〔討論〕

個別報告

船舶衝突における責任追及 松本宏之

〔討論〕

損害賠償法における男女格差の問題 岡本友子

〔討論〕

第二九回 平成一〇年五月三〇日(土) 於弁護士会館講堂 (第27号)

〔シンポジウム〕自動車保険の現状と課題

司会 伊藤文夫

藤村和夫

アメリカ自動車保険の現状と課題 福田弥夫

—カリフォルニア州の動きを中心に—

自動車保険市場の環境変化と将来の課題 堀田一吉

自賠責保険制度の現状と課題 大野裕夫

競争政策と自動車保険の在り方 遠藤美光

〔討論〕

個別報告

暴走族の実態と対策 岡村一博

〔討論〕

『交通死』における逸失利益論—外から見た損害賠償算定基準—

二木雄策

〔討論〕

第三〇回 平成一二年五月二九日(土) 於名古屋弁護士会館五階「名弁ホール」 (第28号)

〔シンポジウム〕交通事故における責任の競合と分担

司会 高野真人

伊藤文夫

自動車事故と共同不法行為について 坂東司朗

交通事故と医療過誤 山川一陽

割合的因果関係論の定着と課題 小賀野晶一

—因果関係論からの考察—

〔討論〕

個別報告

人身傷害補償付自動車保険の特色と問題点 西嶋梅治

〔討論〕

ニュージーランドにおける事故補償制度の最近の動向

佐野 誠

〔討論〕

車両買取請求と物損事故被害者支援センター 浅井岩根

〔討論〕

第三二回 平成一二年五月二七日(土) 弁護士会館二階講堂(第29号)

〔シンポジウム〕高齢化社会と交通法

司会 山田卓生

伊藤文夫

高齢社会と交通 清水浩志郎

高齢者の交通事故防止対策 小長谷一晴

高齢者の交通行動 鈴木春男

被害者としての高齢者 丸山一朗

〔討論〕

個別報告

二世紀の交通事情の展望と発想の転換 椎木 緑 司

〔討論〕

未就労年少者の逸失利益の算定における男女間格差

渡邊 和 義

コメンテーター 淡路 剛 久

岡本友子

〔討論〕

第三三回 平成一三年五月一九日(土) 大阪弁護士会館六階大ホール (第30号)

〔シンポジウム〕過失相殺の諸相

司会 山田卓生

國井和郎

損害賠償における衡平と公平 山田卓生

過失相殺の基本的考え方 窪田充見

過失以外の減額事由 田邨正義

コメンテーター 倉田卓次

事故後の被害者の自殺 藤井 勲

コメンテーター 高橋 祥 友

〔討論〕

個別報告

高齢被害者の介護費用損害と介護保険 高野真人

〔討論〕

逸失利益の算定における中間利益控除方式について

—ライフニッツ方式、ホフマン方式からの脱却をめざして—

加賀山 茂

〔討論〕

第三三回 平成一四年五月二五日(土) 弁護士会館講堂クレオ (第31号)

シンポジウム「自動車の欠陥による事故」

司会 山田卓生
藤村和夫

自動車の欠陥による事故

—シンポジウム企画趣旨—

A・D・Rでの製造物責任にかかわる相談・審査事例について

松岡秀興

リコールとして届け出られた欠陥

太田進

判例に見る欠陥—自動車製造物責任訴訟における裁判例の動向と今後の在り方—

山口正久

討論

個別報告

自賠責保険の制度改正について

井手憲文

交通事故の間接被害としてのPTSDと損害賠償責任—イギリス・コモンローの教訓—

山口成樹

第三四回 平成二五年五月二四日(土) 神戸大学百年記念館 〔第31号〕

シンポジウム「交通事故による損害認定の諸問題」

司会 西原道雄
齋藤修

逸失利益の算定方式

二木雄策

重度後遺障害における近親者感謝料

小川雄介

34号

シンポジウム「後遺症」

司会 山田卓生
伊藤文夫

労災等級、自賠責等級の改定について

山本孟史

後遺症評価をめぐる最近の動き—非器質性精神疾患(PTSD等)をめぐる医学上の問題

飛鳥井望

高次脳機能障害をめぐる医学的問題

大橋正洋

障害認定基準の自賠責保険・損害賠償実務への影響

高野真人

コメント

宮原守男

討論

個別報告

道路交通法の改正について

檜垣重臣

フランス交通事故法の現状と課題

山野嘉朗

第三七回 平成二八年五月二七日(土) 福岡大学A棟A201 〔第35号〕

シンポジウム「自動車損害賠償保障法施行五〇年の軌跡と展望」

司会 山田卓生
伊藤文夫

自動車損害賠償保障法施行五〇年の軌跡と展望

瀧本峰男

自賠法における責任論の推移と課題

藤村和夫

後遺障害認定の変遷と課題

高野真人

—1級三号事案の事例を通して—

頭部の構造と頭頸部の損傷について
人身損害の認定と裁量性

吉峰俊樹
塩崎勤

討論

個別報告

刑事事件における信頼の原則について

椎木緑司

過疎地域における交通事情

松村みち子

第三五回 平成二六年五月二二日(土) 弁護士会館講堂クレオ 〔第33号〕

シンポジウム「交通事故と感謝料」

司会 山田卓生
藤村和夫

総論 交通事故感謝料の理論と展望

齋藤修

青本及び赤い本における感謝料基準と課題

高野真人

交通事故感謝料の現状

篠崎純

ドイツ法における交通事故感謝料

浦川道太郎

討論

個別報告

共同不法行為と過失相殺

北河隆之

都市における自動車利用と駐車スペース

太田勝敏

第三六回 平成二七年五月二八日(土) 弁護士会館講堂クレオ 〔第34号〕

—支払基準の法的拘束力を含む—

政府保障事業をめぐる現代的課題

肥塚肇雄

討論

個別報告

民法五〇九条不法行為債権の相殺禁止の射程距離

藤井勲

—大阪高裁平成二七年七月六日決定 判時一九一八号一七頁

中間利息控除の割合について

齋藤修

第三八回 平成一九九年五月二六日(土) 日本大学法学部三号館三五〇講堂 〔第36号〕

シンポジウム「飲酒運転」

司会 藤村和夫
窪田充見

飲酒運転の実態・取締り・法改正の動向

早川治

刑事司法的対応の現状と問題点

藤井勲

飲酒運転に対する民事司法的対応の課題

堀切忠和

—共同飲酒者・飲酒提供者の責任・懲罰的感謝料など—

無事故飲酒運転と懲戒解雇・懲戒免職処分との妥当性

小川正

討論

個別報告

睡眠時無呼吸症候群スクリーニング検査による交通事故

谷川武

防止対策の推進

ドライブレコーダーによる事故防止 江角直樹

第三九回 平成二〇年五月二四日(土) 熊本大学法文学部棟A1教室(第37号)

〔シンポジウム〕「鉄道事故をめぐって」

司会 伊藤文夫

高橋勝徳

戦後の鉄道事故と法的アプローチ

藤村和夫

鉄道事故と安全対策の制度改正について

河合篤

鉄道事故における民事責任

窪田充見

鉄道事故と刑事責任

大塚裕史

〔討論〕

個別報告

我が国における後遺障害等級認定の諸問題の解決への

アプローチ

大島道雄

米国におけるノーフォルト自動車保険の動向

佐野誠

第四〇回 平成二二年五月一六日(土) 日本大学法学部三号館三五〇講堂(第38号)

〔シンポジウム〕「自動車関連事故と傷害保険」

司会 伊藤文夫

山野嘉朗

傷害保険における「偶然性」―自動車の水没事故にかかる最判平

成一八年六月一日交民三九卷三号五九五頁―甘利公人
自動車のため池転落事故―最判平成一九年一〇月二九日交通民集
四〇巻五号一一五五頁(参考:もち窒息事件・最判平成一九年
七月六日民集六一巻五号一九五五頁)―潘阿憲

交通事故における「急激」性―とくに基礎疾患が協働原因となっ
ている傷害のてん補可能性について― 遠山 聡

〔討論〕

個別報告

「死別の悲しみ」を伴う紛争事例の解決をめぐって―定期金賠償
方式に基づく「命日払い」請求再考―

小佐井良太

運行供用者責任の新たな課題―最近の判例の検討を中心に―

福田弥夫

第四一回 平成二二年五月二二日(土) 兵庫県立大学神戸学園都市キ
ャンパス三木記念講堂(第39号)

〔シンポジウム〕「人身損害賠償に関する諸問題」

司会 齋藤修

藤村和夫

運行供用者責任に関する現代的諸問題

―運行供用者概念の規範化とその限界― 潮見佳男

損害概念について

―差額税についての再検討― 田中 敦

損害賠償額の男女間格差について 岡本友子

〔討論〕

個別報告

共同不法行為事案における求償と自賠償保険支払金の取扱い

―自賠償保険支払い基準の拘束力、自賠償プール会計につい
て― 藤井 勲

人身侵害における非財産的損害の賠償―フランス法を対象とし
て― 住田守道

〔案内〕

また次の在庫がありますので、お問合せ下さい。

「交通法研究」在庫数

四号―「損害賠償額の算定・保険会社の示談代行」
……………六〇〇円… 四二冊

八・九号―「交通事故と生活保障」……………二六〇〇円… 二九冊

一三号―「交通事犯と制裁・事故と賠償」……………一、五〇〇円… 六六冊

一四号―「原因競合と共同不法行為」……………一、六〇〇円… 二八冊

一五号―「交通事故と医療問題」……………一、三〇〇円… 二九冊

二〇号―「違法駐車をめぐる諸問題」……………一、七〇〇円… 九冊

二二号―「外国人労働者への交通事故賠償」
……………一、七〇〇円… 三四冊

二三号―「交通事故の裁判外紛争処理解決について」
……………二、〇六〇円… 一九冊

二四号―「自賠法四〇年の軌跡」……………二、一六二円… 二九冊

二五号―「重度後遺障害者の実態とその救済」
……………二、〇六〇円… 二三冊

二六号―「交通事故と物的毀損」……………二、一〇〇円… 七〇冊

二七号―「自動車保険の現状と課題」……………二、一〇〇円… 六九冊

二八号―「交通事故における責任の競合と分担」
……………二、一〇〇円… 六七冊

二九号―「高齢化社会と交通法」……………二、一〇〇円… 七〇冊

三〇号―「過失相殺の諸相」……………二、二〇〇円… 四九冊

三一号―「自動車の欠陥による事故」……………二、一〇〇円… 一五二冊

三二号―「交通事故による損害認定の諸問題」
……………二、一〇〇円… 一四八冊

三三号―「交通事故と慰謝料」
……………二、一〇〇円… 一五二冊

三四号―「後遺症」……………二、一〇〇円… 一六四冊

三五号―「自動車損害賠償保障法施行五〇年の軌跡と展望」
……………二、三〇〇円… 一五六冊

三六号―「飲酒運転」……………二、四〇〇円… 二〇冊

三七号―「鉄道事故をめぐって」……………二、三〇〇円… 二〇冊

三八号―「自動車関連事故と損害保険」……………二、二〇〇円… 四〇冊